



原宿から練馬へ移転したku:yaの第1回「slowdiet民族音楽と食の夕べ」のゲストは、キルギスのコムズ奏者・カリマンさん。

コムズは遊牧民の使う楽器。キルギスの言葉で、「楽器」という意味を持っています。3本の弦が張られており、3本を一緒に弾く、1本ずつはじく、そしてばらばらと指を開いて弾いたり、胴を叩いたりするなど、アクロバティックな演奏が特徴です。

はじめて聞くのに懐かしい！そんなコムズの調べとキルギスのお話、そして、食の時間をぜひ、一緒に。

懇親会では、キルギスの代表的料理プロフヤスローダイエットご飯などをお楽しみください。

民族音楽と食の夕べ@ku:yaサロンでは、さまざまな民族音楽とふれ、食を楽しみながら、新しい世界に出会っていききたいと思っています。



slowdiet民族音楽と食の夕べ@ku:yaサロン 01キルギスナイト

日時：
2021年12月11日（土）
16:00 open
16:30 start予定
17:30くらいから懇親会

会費：4000円 ※先着10名様
※少人数での開催ですので、キャンセルの場合は、早めに連絡をいただくと助かります。

会場：ku:ya練馬サロン
東京都練馬区下石神井5-18-38
連絡先 090-6498-8621



ウメトバエワ・カリマンさんプロフィール

キルギス共和国ビシケク生まれ。
金属口琴「テミルーコムズ」、木製口琴「ジガチオーズーコムズ、3弦の撥弦楽器「コムズ」の奏者。
キルギス国立音楽大学で民族音楽を専攻。
卒業後、音楽教師としてビシケク第65番学校で子供たちにコムズなどの民族楽器を教える。
キルギスで日本語を学び、2003年キルギス共和国日本語弁論大会で1位、中央アジア大会で2位となる。2007年に東京藝術大学音楽研究科入学。2008年、東京芸術大学の修士課程に入学し、2010年、修士号取得。
現在は博士課程に在籍し「コムズ」について研究する傍ら、民族音楽コンサートなど幅広く演奏活動を行っている。



kyrgyzstan